

〔第1号〕昭和31（1956）年5月20日発行
「適塾」発刊に際して

緒方洪庵時代の病理学
ウイルスの世界
原子力問題の展望
適塾が阪大へ寄贈された経過のあらまし

正田建次郎
安田龍夫
深井孝之助
伏見康治
浜崎照道

〔第2号〕昭和31（1956）年10月20日発行
緒方洪庵および適塾年譜
今日の生化学（蛋白質の生化学に即して）
計数型電子計算機
心臓外科
適塾に学んだ人々（加賀の部）
緒方洪庵屋敷址を訪ねて

古武弥四郎
城憲三
小沢凱夫
藤野恒三郎
藤直幹

〔第3号〕昭和32（1957）年5月発行
緒方洪庵および適塾年譜
わが国の造船技術について
適塾と長崎医学校長ポムペとの関聯に就いて
記念行事二題と適塾
想い出

原田秀雄
荒瀬進
藤野恒三郎
真島利行

〔第4号〕昭和33（1958）年4月1日発行
緒方洪庵および適塾年譜
百年前の医学
中年後の精神衛生
肝臓と人生
女性とホルモン
癌の話
癌と放射線
癌とウイルス

安田龍夫
金子仁郎
木谷威男
石塚直隆
久留勝
山口寿
釜洞醇太郎

〔第5号〕昭和33（1958）年10月20日発行
緒方洪庵および適塾年譜
ダーウィニズムと社会科学
アイヌとその人類学
古典の現代的意義—徒然草の味—
百年前のことども

森東吾
小浜基次
平林治徳
藤野恒三郎

〔第6号〕昭和34（1959）年9月発行
緒方洪庵および適塾年譜
今日の青年—その道德意識と生活態度について—
日本猿の行動について（記録映画）
洪庵先生の学徳

天野利武
天野利武・前田嘉明
藤直幹

〔第7号〕昭和49（1974）年10月28日発行

機関誌復刊によせて
緒方洪庵先生とその前後
ウイグル文書をめぐって
適塾の建物構造の耐力について
適塾記念会の歩み

釜洞醇太郎
藤野恒三郎
山田信夫
奥島正一
伴忠康

〔第8号〕昭和50（1975）年11月10日発行

適塾記念会会長就任の挨拶
文化の交流ということ
適塾に保存される史料について
日本最初の強制種痘「蝦夷種痘図」
適塾の落書
適塾門下生調査資料（追加分）佐野雋達
適塾改築調査専門委員会報告—適塾保全の意味するもの—
適塾の模型
適塾記念会の歩み（その2）—移築から現地保存へ—

若槻哲雄
蔵内数太
藤野恒三郎
中野操
芝哲夫
木幡徳
川崎清
川崎清
伴忠康

〔第9号〕昭和51（1976）年11月10日発行

—巻頭言— 一セントずつの醸金
提言—適塾自由学園を
野口英世博士生誕百年を記念して
日本の風土と栄養—栄養風土論—
大阪と変死三〇年
テキジュ克蘭とヒポクラテスの木
適塾門下生調査資料（追加分、訂正分）
小川文之助（小川鼎三）、加藤宗龍（安井広）、山中猷（安井広）、中根玄山（安井広）
適塾改築調査専門委員会調査報告—適塾の周辺環境について—
適塾記念会の歩み（その3）—適塾修復年次計画の決定—

若槻哲雄
堀内宏昭
藤野恒三郎
須田正巳
四方一郎
緒方富雄

〔第10号〕昭和52（1977）年11月1日発行

—巻頭言— 中天游を見なおそう
歴史へのかかわり
<適塾記念講演会>
阪大隊P29およびカラコルム遠征について
甦るアフリカ美術
<適塾修復特集>
適塾修復工事について（その1）
適塾の建築年代の考証—適塾居住者の変遷と大坂の大火—
新出の渡辺家文書
適塾記念会の歩み（その4）—適塾修復工事始まる—
適塾関係史料解説（その1）

中野操
仁田勇
篠田軍治
木村重信
鈴木充
伴忠康
前田幹
伴忠康
梅溪昇

〔第11号〕昭和53（1978）年11月15日発行

—巻頭言— 適塾の灯
水帳における除痘館（尼崎町）の記録
大坂除痘館の種痘証明書
<「適塾の夕べ」記念講演会>
銅座と住友と適塾
水も氷もガラスになるか？
<適塾記念講演会>
インドネシアの心—ワヤン・ウォン（パルグナディ王）梗概

黒津敏行
緒方正美
緒方正美
宮本又次
関集二

谷村晃・F.X.スハルジョ・パルト

<適塾修復特集>

「適塾」の壁中より発見された古文書	今井修平
「適塾」跡の家で過した私の少年時代の憶い出	緒方裁吉
姓名録の久保良造は久保良平である	伴忠康
桑田立斎の末裔と桑田文庫寄贈の経緯について	加藤四郎
私と解体新書との出会い	馬淵秀夫
蔵書の寄贈者・田村雅太博士	藤野恒三郎
適塾門下生調査資料（追加分） 妹尾遊玄（大浜文男）、吉井儀蔵（時野谷 勝）	
適塾記念会の歩み（その5）—適塾史跡公園の実現化—	伴忠康
適塾関係史料解説（その2）	梅溪昇

〔第12号〕昭和54（1979）年12月1日発行

—巻頭言— 適塾精神こそ大阪の復権	山口正民
適塾を想う	山村雄一
適塾史跡公園化資金募金について	伴忠康
<「適塾の夕べ」記念講演会>	
ワクチンの話	奥野良臣
イギリスにおける町並み保全	大久保昌一
<適塾記念講演会>	
エドワード・ジェンナーの五つの彫像を訪ねて	加藤四郎
<適塾修復特集>	
適塾の壁中より発見された古文書・補遺	今井修平
エドワード・ジェンナーの種痘実験をめぐる謎	加藤四郎
福沢諭吉と丸善	八木佐吉
適塾門下生調査資料（追加分） 藁科松伯（藁科健）、三瀧白圭（三瀧信邦）	
適塾記念会の歩み（その6）—適塾東側の空地化実現と募金活動—	伴忠康

〔第13号〕適塾修復完成記念・緒方洪庵と適塾展特集号 昭和56（1981）年2月15日発行

—巻頭言— “適塾の年”に想う	山村雄一
提言—適塾同門の縁者を適塾記念会の一つの柱に	武谷健二
適塾竣工式典 式辞	山村雄一
祝辞	犬丸直・岸昌・大島靖・堀田庄三
適塾の修復について	川崎清
私の知っている適塾	佐々木利三
各地で「緒方洪庵と適塾」展を開催—適塾の修復と史跡公園化を記念して—	内藤祐次
大阪会場 ごあいさつ 適塾を囲む人垣の中で修復が完了	山村雄一
ご祝辞 祖父緒方惟準と適塾の思い出	緒方富雄
福岡会場 ご祝辞 国政に参加した多くの適塾門下生に敬意	石田正太郎
ご祝辞 緒方洪庵に学ぶパイオニア精神	神田慶也
岐阜会場 ごあいさつ 適塾を羽ぐくんだ大阪蘭学の伝統	藤野恒三郎
東京会場 ご祝辞 偉大なる国家経論の才に溢れた教育者	武見太郎
祝辞 福翁自伝に描かれた適塾での生活を思い浮かべ	石川忠雄
ご祝辞 近代日本建設のための原動力	岡田茂
「緒方洪庵と適塾」展記録	梅溪昇・藤田実
“特集”座談会—「緒方洪庵と適塾」展を終えて—	
藤野恒三郎・伴忠康・梅溪昇・芝哲夫	・三輪谷俊夫・中川八郎・藤田実・青木允夫・熊谷康夫
緒方洪庵の寒暖計・薬箱	青木允夫
『エンシリディオン・メディアム』私記—「緒方洪庵と適塾」展によせて—	毛利孝一
<「適塾の夕べ」記念講演会>	
大坂面壇の源流—狩野山楽と狩野内膳—	武田恒夫
お歯黒	山賀●（「ネ」＋「豊」）一
<適塾記念講演会>	

シェイクスピアの芝居と芝居小屋	藤田実
蛇の毒	鈴木友二
新たに発見された緒方洪庵の振手形	梅溪昇
緒方八重の弟、億川信哉の周辺	中山沃
緒方惟準先生と喘息煙草—祖父小林謙三 蝸牛の跡—	小林康喜
祖父西村英蔵の旧蔵書とその経歴	西村英男
適塾門下生調査資料（追加分）	
大島周禎（岡田広吉）、佐々木恕伯（岡田広吉）、武田直道（武田昌一）、上杉寛二（上杉茂俊）、黒田行次郎（水原完）、岩谷雀達（坂本春吉）、土佐柳庵（登佐昇）、松井元純（松井太一）、武田良祐（武田昌一）、有吉文郁（有吉孝祐）、古田杏輔（古田佐知）、柴六郎（柴万三郎）	
適塾門下生に関する情報収集および調査報告—適塾展を中心として—	芝 哲夫
有馬攝蔵・森鼻純三郎・黒田行次郎・後藤元哲・岡澤終吉・神植元鳳・神植格之助・村田良庵・岩谷省達・松浦道伯・花沢玄庵・杉 収蔵・林 玄仲・田上周道・津田淳三・土佐柳庵・別府琴松・芦田愛次良・松井元純・松下元芳・松下済民・長与専斎・柏原謙益・柴 六郎・山口良哉・松岡勇記・有吉文郁・跡見玄山・高島耕益・古田杏輔・塚本道甫・三好東益・石井久吉・吉見雲台・廣岡新斎・震動雷天僕・古賀元才・所郁太郎・田代一徳・高松凌雲・北条謙斎・武田良祐・南 三隆・春日寛平・賀川秀哲・緒方郁蔵・緒方拙斎・深瀬仲麿・緒方正清・高島耕斎・薬師寺冬堂・江馬天江・岡田利平・近藤坦平・片岡養次郎・上杉寛二・姪女春英・矢野留三・梅原玄徴・武田玄臺・山岸健一	
適塾記念会の歩み（その 7）	梅溪昇
—適塾修復・史跡公園化・適塾展・皇太子同妃両殿下行啓—	
適塾関係史料解説（その 3）	梅溪昇

〔第 14 号〕 昭和 57（1982）年 3 月 25 日発行

—巻頭言— 『その後の適塾』	伴忠康
提言—適塾に資料館を	青木允夫
都市環境とアメニティ	大久保昌一
モンテベルデ作エドワード・ジェンナーの大理石像への遠い道	加藤四郎
推理「適塾の住いと暮し」	中崎昌雄
放送された「適塾」の取材から生れた心	岡田良一
緒方洪庵の手紙特別展示	藤田実
<「適塾の夕べ」記念講演会>	
足守と名塩における緒方洪庵	中山沃
連歌の効用	田中裕
長與専斎と適塾	伴忠康
緒方洪平先生旧蔵史料の紹介	梅溪昇
—（一）洪庵文庫設立関係史料・（二）深瀬仲麿関係史料・（三）中天游緒方洪庵宛書翰—	
適塾門下生調査資料（追加分）	
林玄仲（林敬）、小山良運（芝哲夫）、松下元芳（松下高興）、設楽徳治（宇居専之助）、眞島利民（眞島行雄）、群馬良三（宇居専之助）、岡格太郎（岡虎夫）、梅谷慊堂（梅谷春彦）	
適塾門下生に関する調査報告（2）	芝哲夫
花澤玄庵、杉収蔵、林玄仲、田上周道、三瀧白圭、土佐柳庵、小山良運、松下元芳、吉見雲台、震動雷天僕、群馬良三、薬師寺冬堂、岡村義昌、深瀬仲麿、岡格太郎、石井宗謙	
適塾門下生随想	
梅谷慊堂のこと	中崎昌雄
箕作秋坪について（書簡）	治郎丸憲三
祖父眞島利民について	眞島行雄
適塾記念会の歩み（その 8）	芝哲夫
適塾関係史料解説（その 4）	梅溪昇

〔第 15 号〕 昭和 57（1982）年 11 月 30 日発行

—巻頭言— 適塾精神	若槻哲雄
創立のころ	藤野恒三郎
洪庵忌特別展示 オランダ原書と蘭学事始	藤田実
<適塾記念講演会>	
中国人のもののかた—家族と国家—	日原利国

湯川博士と大阪	内山龍雄
<「適塾の夕べ」記念講演会>	
私たちの生活と微生物	原田篤也
雑誌・医譚と適塾	藤野恒三郎
適塾立地の歴史地理的背景	矢内昭
月も日も—ある一族の明治前半期—	須田信英
ヨハンペーター フランクと警察医学—日本衛生史の一側面—	後藤稠
長與専齋の聯	小山金波
梅谷左門あての洪庵の手紙	中崎昌雄
伝記小説「或る蘭方医の生涯」執筆余談	桑田忠親
緒方洪平先生旧蔵史料の紹介（補遺）—（一）洪庵文庫設立関係史料—	梅溪昇
適塾門下生調査資料 足羽深蔵（森納）、太田静馬（森納）、林貞造（森納）	
適塾記念会の歩み（その9）	芝哲夫

〔第16号〕昭和58（1983）年11月30日発行

—巻頭言— 適塾の再興を願う	岩間吉也
「適塾齋塾」と「懐徳堂」	蔵内数太
「適塾」跡の土地・建物が阪大へ寄贈された経緯	緒方裁吉
適塾特別展示「洪庵先生をしのぶ」	脇田修
<適塾記念講演会>	
生物時計の話	中川八郎
緒方洪庵の学風と大坂の経営風土	作道洋太郎
<「適塾の夕べ」記念講演会>	
バウロフ—人と業績	岩間吉也
美術館の話	川崎清
「大阪の除痘館」展示について	緒方正美
大坂古手町（初代）除痘館跡について	古西義麿
適塾の所有者名塩屋熊太郎について	中山沃
緒方洪庵訳・白内翳（障）手術書の紹介	藤野恒三郎
適塾にある「アンブロアズ・パレ全集」について—日本の外科を方向づけた書—	大村敏郎
山東京伝「本朝酔菩提」の挿絵と解体新書	中崎昌雄
史料紹介（一）緒方裁吉氏寄託の緒方洪庵和歌短冊について	梅溪昇
（二）緒方洪庵和歌短冊	脇田修
適塾門下生調査資料（追加分） 中桐洪吉（中桐允）	
適塾門下生に関する調査報告（3）	芝哲夫
村上代三郎・河田雄禎・東條英庵・森鼻純三郎・高橋文郁・西敬次・神植元鳳・秋本玄芝・内山寛齋・菅謙造・林玄仲・伊藤慎蔵・坪井信友・後藤文徳・津川春二・奈倉道庵・中桐洪吉・嵯峨根良起・吉井儀蔵・三刀元寛・邨田文機・高安丹山・松岡勇記・宮崎忠格・藤野卓爾・仁専良伯・長谷川黙蔵・佐沢元太郎・加藤宗龍・杉本退蔵	
適塾記念会の歩み（その10）	芝哲夫

〔第17号〕昭和59（1984）年11月25日発行

—巻頭言— 適塾の未来	山村雄一
ある解剖研修と除痘活動—適塾と究理堂との交流—	藤野明
近藤芳樹と緒方洪庵	多治比郁夫
適塾春季特別展示「適塾と福澤諭吉」	藤田実
<適塾記念講演会>	
分子美学とその分子設計 「いらち」「あそび」そして「はなやぎ」	中崎昌雄
廣瀬旭荘の日記にみえる緒方洪庵と適塾生の動静	梅溪昇
<「適塾の夕べ—洪庵忌—」記念講演会>	
福澤諭吉における適塾時代の意味	ひろたまさき
福澤諭吉の父、百助について	梅溪昇
座談会 適塾記念会創立のころ 藤野恒三郎・蔵内数太・森東吾・芝哲夫・藤田実・梅溪昇	
洪庵著『適々齋薬室膠柱方』	藤野明

洪庵と津下精齋兄弟	内藤二郎
大阪慶応義塾盛衰記	若林喜三郎
山東京伝『本朝酔菩提』の挿絵と解体新書(続)	中崎昌雄
適塾生 奈倉道庵について	奈倉道治
適塾周辺史跡公園について	
史料紹介 (一) 新収の渡辺卯三郎関係文書について	梅溪昇
(二) 新収の村上家文書について—その一—	脇田修
適塾門下生調査資料 奈倉道庵(奈倉道治)、三刀寛一郎(宮尾敬三)	
適塾門下生に関する調査報告(4)	芝哲夫
有馬攝蔵・河田雄禎・森鼻純三郎・西敬次・林玄仲・伊藤楨蔵・中邨恭安・毛利耕蔵・高瀬栄蔵・ 柏原学介・柏原謙益・三刀元寛・神澤坦斎・吉村文益・川西顯良・山田純安・渡邊禮三・三好晋 造・富田晩齋・石川玄貞・岡村多仲・小川清介・小野元民・久坂玄機・児玉有成・坪井信良・南摩 三郎・山鳴剛蔵・吉田有秋	
適塾記念会の歩み(その11)	芝哲夫

〔第18号〕昭和60(1985)年12月12日発行

—巻頭言— 適塾の意義	熊谷信昭
未完の訳稿『舎密全書』	藤野明
フレスの解剖書を使った幕末維新の解剖学講義について	石田純郎
適塾春季特別展示「蘭学をめぐる女性たち」—洪庵夫人緒方八重没後一〇〇年を記念して—	

藤田実

<適塾記念講演会>	
がん予防十二ヶ条	山村雄一
近世大坂の地誌的情報	矢守一彦
<「適塾の夕べ—洪庵忌—」記念講演会>	
シーボルトとその時代—ドイツを中心に—	岡部健彦
咸臨丸の福澤諭吉と「写真屋の娘」—ダゲレオタイプとアンプロタイプ—	中崎昌雄
座談会 適塾門下生調査について 蔵内数太・藤野恒三郎・堀内宏昭・梅溪昇・芝哲夫・藤田実	
「福澤井蹟」の現在位置について	梅溪昇
適塾と美濃大垣江馬家との交流	江馬庄次郎
緒方洪庵「扶氏医戒之略」—億川家、緒方家、跡見家各所蔵の比較—	富安廣次
戦後における福澤先生誕生地記念碑の再建経緯について	梅溪昇
史料紹介 新収の村上家文書について—その二—	大西愛・脇田修
三刀玄寛資料について	宮尾敬三・芝哲夫
適塾蔵蘭書資料について—その一—	藤田実
適塾門下生に関する調査報告(5)	芝哲夫
村上代三郎・橋本秀益・近藤玄龍・林雲溪・深沢雄甫・柳下立達・片山文哲・稻田宣四郎・戸塚柳 溪・和田養源・蒔田良哉・橋本左内・本間恒哉・佐藤周庵・宮永勤齋・宮永良山・笠原健蔵・嵯峨根 良起・佐渡賢隆・柏原学介・山崎讓・西川貫蔵・三刀玄寛・神澤坦斎・吉村文益・足立藤三郎・阿波 加修造・岡村義昌・岡村新三郎・春日寛平・竹内海三・坪井信良	
適塾記念会の歩み(その12)	芝哲夫

〔第19号〕昭和61(1986)年11月25日発行

—巻頭言— 適塾周辺の公園化	若槻哲雄
咸臨丸に乗っていたもう一人の適塾生 牧山修卿	中崎昌雄
適塾春季特別展示「適塾のころの医とくすり」	藤田実
<適塾記念講演会>	
薬物に対する生体防御機構	佐藤了
イースター島巨石人像の系譜	木村重信
<「適塾の夕べ—洪庵忌—」記念講演会>	
適塾の塾生と薬物の知識	米田該典
国際情勢のみかた	山室英男
特集 中野操先生を偲んで	

中野操先生を憶う 梅溪昇
〈座談会〉中野操先生を語る

藤野恒三郎・宗田一・長門谷洋治・藤田実
松田武

中野操先生年譜
百歳の壽花崎采琰
資料紹介 新史料より見たる適塾の過書町への移転及びその名義の移動について 杉立義一
西山静斎書状について—適塾移転の年は改めらるべきこと—

井上孝治・芝哲夫

「洪庵時代の大阪の医師分布図」作成について 大西愛
緒方裁吉氏寄贈品目録 脇田修
適塾蔵蘭書資料について—その二— 藤田実

適塾門下生調査資料 佐々木恕伯（岡田広吉）、坂井隆徳（岡田広吉）
適塾門下生に関する調査報告（6） 芝哲夫

横山謙斎・神保朔茂・村田蔵六・藤野升八郎・石原朴平・渡辺卯三郎・長瀬元蔵・伊藤慎蔵・妹尾
遊玄・島村貞蔵・岩谷玄良・中桐洪吉・嵯峨根良起・鎗木立本・安田謙曾・西川貫蔵・中山八郎・
松岡勇記・斎藤策順・岡本周吉・滝波元章・赤石退蔵・岸正爾・古川春龍・津下来吉・馬場尚徳・
松本五郎・原玄了・宮永実吉・中村謙輔・田中亮亭・柴岡宗伯・今井雄策・宮永典常・花房虎太
郎・渡辺禮（ネ）+（豊）三・尾崎道倫・横山浅謙・三浦退之助・大野貞斎・市川斎宮・岡村義昌・
串戸瑞軒・黒川良安・佐々木源満・徳岡三鼎、徳岡啓哉・山鳴剛蔵
適塾記念会の歩み（その13） 芝哲夫

〔第20号〕昭和62（1987）年11月25日発行

—巻頭言— 適塾一五〇年記念の年を迎える 藤野恒三郎
適塾春季特別展示「錦絵にみる医療の歴史」 藤田実

〈適塾記念講演会〉
情報と通信—その歴史と現状— 熊谷信昭
円ドル・レートと貿易摩擦 新開陽一

〈「適塾のタベ—洪庵忌—」記念講演会〉
ヨハン・ペータ・フランクという人のこと—職業病からみた医学史— 後藤桐
大阪医学校の創建の頃 酒井シヅ

〈座談会〉
適塾の精神と大阪のアイデンティティ 藤野恒三郎・作道洋太郎・大久保昌一・藤田実
〈てきじゅく あら・か・る・と〉神植格之助と中村順平 和田幸治

堀内宏昭氏を偲んで 堀内宏昭さんと適塾 伴忠康
文人・堀内宏昭氏の思い出 山田政弥

在村適塾生について 田崎哲郎
緒方洪庵門下生—その広島県出身者について— 管井光男

後藤文徳・津川春二・今井雄策・佐澤元太郎・金子元達・澤田泰順・寺地謙佐・穂波搜古・代山
岱・山口倉二・石井厚顕・向井又玄・児玉有成・水野宋民・舟地舟理・種村達麿

大坂除痘館公館化をめぐる問題 浅井允晶
今村新斎は仏語学者今村有隣ならんか 今井一良

村松岳佑資料について—附「重要日記」— 芝哲夫
史料紹介

緒方洪庵関係記事と佐伯瀬左衛門惟因の「文化九申年八月十六日出立浪華に登る記」
—「佐伯家関係文書」（一）— 梅溪昇

新収の村上家文書について—その三— 脇田修
適塾門下生に関する調査報告（7） 芝哲夫

林元仲・妹尾遊玄・村松岳佑・中込元貞・嵯峨根良起・吉井儀蔵・広瀬周平・岡本周吉・藤野卓
爾・田代一徳・谷世敏・谷口泰庵

適塾記念会の歩み（その14） 中川八郎
『適塾』総目次（第1号～第19号）

【第 21 号】適塾開塾 150 周年記念号 昭和 63 (1988) 年 11 月 25 日発行

—巻頭言— 適塾開塾一五〇周年を迎えて—創造的模倣から独創的創造へ—	熊谷信昭
適塾開塾一五〇周年記念特別展示「緒方洪庵」	藤田実
<適塾記念講演会>	
ウイルスワクチンの現状と将来—エイズの予防は可能か—	高橋理明
離婚法の新時代—欧米と日本—	久貴忠彦
<「適塾のタベ—洪庵忌—」記念講演会>	
適塾生 黒田行次郎について	水原完
老化と老年病	熊原雄一
特集 藤野恒三郎随聞記	藤野恒三郎・梅溪昇
適塾開塾一五〇年記念特集 <一五〇年前—世の中と出来事>	
一八三八年 (天保九) —アジア・日本・大坂—	脇田修
奴隷解放とティー・ブレイクの成立—「最初の工業国家」の食生活革命—	川北稔
医学と生物学の発展より	藤田尚男
緒方洪庵と一八三八年のヨーロッパ	藤田実
理工学と技術の発展	須田信英
福沢諭吉のある一面	東光寛英
竹内東白書簡について	芝哲夫
ロビンソン漂流記 本邦初訳者 黒田行元麴廬のこと	平田守衛
緒方裁吉氏寄託品について	脇田修
適塾門下生調査資料 湯浅方斎 (桜井孝三)	
適塾門下生に関する調査報告 (8)	芝哲夫
津田徳本・鹿田謹齋・水越元正・大内貞介・原省蔵・坂乙格・小柳元学・山本清仲・津田淳三・大田良策・妹尾遊玄・村松岳佑・嵯峨根良起・中込言貞・湯浅方斎・田中発太郎・広瀬周平・明石天随・萱津行蔵・藤野卓爾・奥野勇助・大隅春吉・馬島健吉・伍堂春閣・関沢安太郎・近藤岩次郎・明石春作・谷世敏	
<てきじゅく・あ・ら・かると> 先生の先生	
適塾記念会の歩み (その 15)	中川八郎

【第 22 号】平成元 (1989) 年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 洪庵・適塾と大坂	西尾正也
適塾春季特別展示「適塾の塾生達と日本の近代化」	藤田実
<適塾開塾一五〇周年記念講演会>	
知られざる適塾生達	芝哲夫
予防医学への期待	蟻田功
<適塾のタベ—洪庵忌—記念講演会>	
大阪のオランダ医学とその背景	石田純郎
コレラ研究はここまで進んだ	三輪谷俊夫
<適塾開塾一五〇周年記念シンポジウム>	
〔報告〕 日本の近代化と適塾	ひろた まさき
適々齋塾創設の頃	酒井シヅ
地域社会における蘭学	田崎哲郎
〔コメント〕 適塾の歴史的評価をめぐって	梅溪昇
洪庵とコレラ—『虎狼痢治準』をめぐって—	宗田一
奥山静叔のことども	長門谷洋治
〔討論〕 「適塾の歴史的意義について」のまとめ	脇田修
<日蘭修好三八〇周年記念行事>	
日蘭修好三八〇周年記念行事の概要	芝哲夫
「大阪とオランダ」展と記念冊子の刊行	脇田修
「史跡訪ね歩き」について	米田該典
「科学技術フォーラム」について	伴忠康
サン・ミケーレ島に緒方惟直の墓をたずねて	緒方正美
恩師・緒方準一先生を偲んで	石川兵衛

緒方富雄博士を偲ぶ	藤野恒三郎
蔵内数太先生と興讓館—追憶—	森東吾
緒方洪庵生誕一八〇年前年祭	緒方正美
適塾門下生「高井泰造」について	高井史男
適塾門下生調査資料 高井泰造（高井史男）	
適塾門下生に関する調査報告（9）	芝哲夫
本荘豊太郎・本荘俊齋・牧山熹朔・三刀玄寛・小西天臣・津下来吉・土屋元鵬・吉村文益・藤野卓爾・藤井秀達・馬嶋健吉・北條謙輔・阿波加脩造・今村九一郎・西村祐敬・松尾友太郎	
適塾記念会の歩み（その16）	中川八郎

〔第23号〕平成2（1990）年12月1日発行

—巻頭言— 適塾・緒方家とのご縁	弘世現
適塾春季特別展示「大坂の町と適塾」	宮本又郎
<適塾記念講演会>	
異国観と他者意識—近世日本の民衆史料を中心に—	ロナルド・トビ
人体解剖のルネサンス	藤田尚男
<適塾の夕べ—洪庵忌—記念講演会>	
『医心方』巻第二十二（妊娠篇について）	杉立義一
江戸時代経済史の新傾向	宮本又郎
<特集・座談会>	
「適塾と懐徳堂」	宗田一・中川八郎・脇田修・多田羅浩三・宮本又郎
<論考>	
医学史の中の謎 二題	藤野恒三郎
「我が蘭学—変の時節到来」—維新时期医育史へのアプローチ—	神谷昭典
オランダの繁栄と日本の銀	角山榮
野口英世博士の死因について	加藤四郎
窮理学研究所・適塾	西川俊作
適塾・大坂医学校の人脈と生命保険	小川功
新出の明治期「適々齋塾門人帳」について—大阪と東京の適々齋塾—	松田武
適塾生「牧山脩卿」と東京府病院	神前五郎
東濃における蘭学の一例	杉村啓治
手塚治虫と適塾	ひろたまさき
<門下生調査>	
適塾門下生・赤昌齋について	赤祖父一知
適塾門下生調査資料 赤昌齋（赤祖父一知）	
適塾門下生に関する調査報告（10）	芝哲夫
小寺陶平・奥山静叔・松浦元瑠・長瀬元蔵・渡邊立誠・谷鵬庵・杉山泰輔・飯沼五作・長谷川黙蔵・荒川作蔵・緒方郁蔵・久米拙造・栗原正信・佐々木貞齋・田中倫蔵・谷三省・西山秀一	
適塾記念会の歩み（その17）	中川八郎

〔第24号〕平成3（1991）年12月1日発行

—巻頭言— 適塾からの連想 岡田善雄	
適塾春季特別展示「適塾の門下生たち—その風貌と著作—」	廣田昌希
<適塾記念講演会>	
医学史中の謎 二題（続）—解体新書の扉絵・アダムとエバー	藤野恒三郎
国際化と日本文化	青木保
<適塾の夕べ—洪庵忌—記念講演会>	
糖尿病今昔物語—洪庵忌に寄せて	垂井清一郎
池上・関大阪市政の制度的基盤	山中永之佑
<論考・随想>	
洪庵先生の適塾購入	脇田修
歯学が医学より分かれた理由—遠藤周作氏の質問に対して—	猪木令三
『中浜東一郎日記』考	塚本宏
適塾雑感—「日本」の国際化への提言—	高橋理明

風景印が語る適塾と神農さんの虎 『長崎府医学校規則并附録』にみる「医」の原点 カステラー事始 <資料> 本野盛亨翁逸事再録 <適塾門下生調査> 新出の「明治期・適塾門人帳」の中の鳥取県関係の医師たち 緒方研堂そして小寺太純 佐々木恕伯とその門下生 適塾門下生調査資料 佐々木恕伯（堀合光男） 適塾生—広島県出身者について（2） 今田降軒、小田松眠・津川春二、山口倉二 適塾門下生に関する調査報告（11） 森鼻純三郎・神植元鳳・長瀬元蔵・神植格之助・津田淳三・大田良策・田中発太郎・中村恭安・河 島宜哉・池田桃園・原田磊蔵・本野周造・田沢成一郎・崖嘉一郎・酒井篤禮・小川裕蔵・阿波加脩 造・村田徹斎 適塾記念会の歩み（その18）	石原理年 小野尚香 杉村啓治 芝哲夫 森納 広沢澄郎 堀合光男 管井光男 芝哲夫 中川八郎
--	--

〔第25号〕平成4年（1992）年12月1日発行

—巻頭言— 適塾の伝統 <適塾春季特別展示> 緒方洪庵のふであと—日記と手紙と和歌— 藤野恒三郎先生を偲ぶ 適塾人藤野恒三郎 藤野恒三郎先生を偲んで 藤野恒三郎先生と私 藤野先生の思い出 叔父・恒三郎と大叔父・巖九郎 藤野先生を偲ぶ 今は亡き藤野恒三郎先生へ 藤野適塾学の最後の門下生として <適塾記念講演会> 医学・医療の進歩を支えるもの 近世大坂町人の生活と意識 <適塾の夕べ—洪庵忌—記念講演会> 生駒の神々 男と女—昔と今 <論考・紹介> 佐野常民旧蔵の『和蘭字集』について 現代語訳 大庭雪齋『民間格致問答』について 足守 緒方洪庵顕彰会の近況について <資料> 洪庵の父 佐伯瀬左衛門惟因の「御奉公記録」と 「文政八乙酉年十月ヨリ大坂御留守居役手帳」—「佐伯家関係文書」（二） 宮永家旧蔵資料について <適塾門下生調査> 書翰にみる大野での伊藤慎蔵 薩摩出身の適塾門人八木稱平 適塾門下生に関する調査報告（12） 深澤雄甫・柳下立達・岩谷省達・吾妻千齡・岩田三達・渡辺立誠・二宮逸二・藤本元岱・富永習 益・富澤松庵・沼田芸平・今泉彦六・藁科松伯・細谷米山・近藤守全・酒井篤禮（ネ）+（豊）・ 松岡理水・武田良祐・柳野謙秀・原澄斎・久米拙造・谷世敏・中山修輔・八島星海 適塾記念会の歩み（その19）	金森順次郎 藤田実 司馬遼太郎 三輪谷俊夫 芝哲夫 宗田一 藤野明 辻忠男 梅溪昇 藤田実 曲直部壽夫 脇田修 塩原勉 松本圭史 大西愛 安田雄平 乗金米蔵 梅溪昇 芝哲夫 長橋務 森重孝 芝哲夫 中川八郎
---	---

【第26号】平成5(1993)年12月1日発行

- 巻頭言— 適塾・懐徳堂資料館建設について再考する 中川八郎
適塾特別展示「オランダの歴史・風土と日本の蘭学」 藤田實
<適塾記念講演会>
本居宣長と『古事記伝』 子安宣邦
がん研究はどこまで進んだか 豊島久眞男
<適塾のタベ—洪庵忌—記念講演会>
脳の働きとエタノール 和田博
近世大坂の銅精錬と銅貿易 今井典子
<論考・随想>
『洪庵・適塾の研究』補遺四題 梅溪昇
—緒方洪庵と後藤松陰・杏雨書屋蔵洪庵の肖像と書・一廻り七日の説・新史料緒方洪庵書翰二通—い
わゆるお雇い工師デレーケなどのこと 井口昌平
杉田成卿『蘭文玉川紀行』難解箇所について 中崎昌雄
<資料>
山崎家旧蔵図書について 佐光昭二
宮永家旧蔵資料について(補遺) 芝哲夫
<適塾門下生調査>
富山県の適塾門下生について 赤祖父一知
適塾門下生調査資料 有持臯平、宇津進、高島耕齋、高島耕益、秦四郎(佐光昭二)
適塾門下生に関する調査報告(13) 芝 哲夫
井上主水・後藤元哲・深澤雄甫・竹内東白・小谷純静・弘田玄又・西川桃芸・大田恕齋・鎗木立
本・藤本元岱・柴六郎・柴野厚庵・瀧波元章・江馬春琢・川北元立・萩原慮庵・立田春江・和田敬
吉・加藤宗龍・大国明二郎・江馬信成・小野順吉・柏原省三・杉田平三郎・中山修輔・細見慶吉・
本山漸
<紹介>
梅溪昇著『洪庵・適塾の研究』 脇田修
芝哲夫著『オランダ人の見た幕末・明治の日本—化学者ハラタマ書簡集—』 藤田實
適塾記念会の歩み(その20) 多田羅浩三

【第27号】平成6(1994)年12月1日発行

- 巻頭言— 緒方洪庵と除痘館—ジェンナー牛痘種痘法発明二〇〇年(一九九六年)を控えて— 加
藤四郎
適塾特別展示「緒方洪庵とくすり—薬箱とてがみ—」 藤田實
<適塾記念講演会>
国連の再生と日本の役割 神余隆博
<適塾のタベ—洪庵忌—記念講演会>
緒方富雄博士編『緒方洪庵のてがみ』最終巻の完成・刊行について 梅溪昇
和魂洋才の医学 小野啓郎
<論考・随想>
薬学者としての緒方洪庵—薬箱を巡って— 米田該典
「颶風新話」と「築城全書」の原著について 中西秀樹
玄真、信道と洪庵 —蘭方から蘭学へ— 長与健夫
若槻哲雄先生と適塾 芝哲夫
洪庵忌 須田信英
<資料>
適塾門下生田中信吾の碑銘文について 赤祖父一知
藤野家文書・蘭学者関係書翰の紹介 梅溪昇
大國明次郎姓名録 芝哲夫
適塾門下生中村恭安の手書き残稿—山井明氏から適塾への寄贈資料— 米田該典
岡澤家資料目録 芝哲夫
<適塾門下生調査>
適塾門下生調査資料(篠田秀道・猪子鼎) 佐光昭二
適塾門下生調査資料(松浦道伯) 伊藤忠芳

- 適塾門下生に関する調査報告 (14) 芝哲夫
 有馬攝藏・河田雄禎・東條英庵・池田良輔・大浦彦章・邨瀬杏庵・長與誠一・森良齋・織戸讓輔・
 澁谷良耳・宮田魯齋・古川春齋・毛利耕蔵・西川桃芸・柏原学介・邨田文機・岡本周吉・草野元
 養・杉山泰輔・須田長安・浅野泰仲・大久保適齋・小川清介・戸田耕蔵・橋本玄意・牧松庵・湯川
 退軒
 適塾記念会の歩み (その 21) 多田羅浩三

〔第 28 号〕平成 7 (1995) 年 12 月 1 日

- 巻頭言— 適塾に思う 松岡博
 適塾特別展示「適塾とその界限—幕末の頃の大坂—」 米田該典
 <適塾記念講演会>
 江戸の名作に秘められた謎 信多純一
 ヒト・ゲノム 全遺伝子を解読しようという試みについて 松原謙一
 <適塾の夕べ—洪庵忌—記念講演会>
 専斎の祖父・長与俊達と「適塾」 長与健夫
 適塾と船場—近世大坂のビジネスと学問— 作道洋太郎
 <論考・随想>
 維新を生きた津下精斎の生涯 津下健哉
 「癸丑年中日次之記」収録の藤田源二郎について 浅田信雄
 適塾門人神植兄弟の遺した四冊の蘭文写本のオリジナル蘭書について 石田純郎
 <資料>
 長崎修行中の緒方洪哉 (のち惟準) にあてた母八重のてがみ (二通) 梅溪昇
 佐野常民書簡 芝哲夫
 中村恭安訳『ベーツ「乾葉韻府」』について 米田該典
 <適塾門下生調査>
 適塾門下生に関する調査報告 (15) 芝哲夫
 宇治田隼太・武谷祐之・桑原林庵・牛島養朴・中島泰民・舟曳卓介・佐野栄寿・伊藤精一・丸川襄
 吉・吉雄敦・伊藤貞齋・鶴田仙庵・高松春民・工藤寛哉・吉川圭周・藤野良泰・吉永永叔・高原治
 郎作・小野義真・所郁太郎・青木玄英・松下済民・上野春庭・江馬天江・奥村春齋・久坂玄機・高
 橋正直
 適塾門下生著作目録 芝哲夫
 適塾記念会の歩み (その 22) 多田羅浩三
 「適塾」第二十七号 口絵の「解体図」について 梅溪昇

〔第 29 号〕平成 8 (1996) 年 12 月 1 日

- 巻頭言— 世紀末を思う 園田昇
 適塾特別展示「適塾と除痘館—ジェンナーの種痘から二〇〇年—」 米田該典
 <適塾記念講演会>
 百年後のためのタネ—生命誌研究館の試み— 中村桂子
 邪馬台国論争と考古学の新知見 都出比呂志
 <適塾の夕べ—洪庵忌—記念講演会>
 「人口論争」の前後—イギリス人は人口をどうみてきたか— 川北稔
 高祖父のヨーロッパ旅日記 須田信英
 <論考・随想>
 緒方研堂及びその周辺 広沢澄郎
 緒方洪庵夫人・八重の生涯と大坂の除痘館 古西義磨
 —とくに八重の終焉の地をめぐる— 付・緒方八重葬送関係新聞資料
 適塾生—その広島県出身者について— (三) 管井光男
 億川翁佐 (信哉) 宛坪井信友書状 中山沃・亥野疆
 <資料>
 緒方惟準・収二郎・銚次郎関係書翰等の紹介 梅溪昇
 緒方洪庵先生の薬箱とその内容薬物について 米田該典・前平由紀
 柳下家文書適塾関係資料について 芝哲夫
 <適塾門下生調査>

適塾門下生に関する調査報告 (16) 芝哲夫
 渡邊謙節・岩切久吉・佐野栄寿・杉収蔵・大島周禎・黒江綱介・木脇文節・有馬洞運・岩崎俊斎・
 小倉玄昌・田川元叔・前野良伯・市川斎宮・江幡春庵・検本源吾・佐野雋達・島立甫・南摩三郎・
 福島邦成・藤野玄洋・若山健海
 適塾記念会の歩み (その 23) 多田羅浩三

【第 30 号】平成 9 (1997) 年 12 月 1 日発行 附：中天游先生夫妻墓碑整備・顕彰事業
 —巻頭言— 「平成の適塾」 岸本忠三
 適塾特別展示「洪庵の師—中 天游と大坂の蘭学」 米田該典
 故 適塾記念会理事 司馬遼太郎氏を偲んで 梅溪昇
 <適塾記念講演会>
 小アジア (現トルコ共和国) 地中海沿岸におけるビザンチン遺跡 辻成史
 現代医学より見たジェンナーの業績について —ジェンナー牛痘種痘法発明二百年を記念して—
 加藤四郎
 <中天游顕彰記念講演会>
 中天游の蘭学 吉田忠
 海上随鷗と中さだ 森納
 <論考・随想>
 【緒方洪庵】像制作、設置の経緯 川合敏久
 緒方洪庵著筆とされる解剖資料二点について 米田該典
 <資料>
 綾部勤史料について 芝哲夫
 今治市河野美術館所蔵の緒方洪庵および適塾出身者の書翰 梅溪昇
 <適塾門下生調査>
 適塾門下生に関する調査報告 (17) 芝哲夫
 菅謙造・片山文哲・川本文二・大島圭介・三木惟善・馬場尚徳・西春濤・中川哲次・岡村龍哉・岡
 本文吾・豊富一郎・岡村多伸・羽山直記・弓場為政
 適塾記念会の歩み (その 24) 多田羅浩三
 『適塾』総目次 (第 20 号～第 29 号)
 <中 天游先生夫妻墓碑整備・顕彰事業>
 中天游先生夫妻墓碑整備・顕彰事業経過報告 梅溪昇
 中家と緒方家との関係 緒方裁吉
 中天游と緒方洪庵 梅溪昇
 中天游・伊三郎と解剖図 米田該典
 中天游先生夫妻墓碑整備・顕彰事業収支報告・寄附者名簿

【第 31 号】平成 10 (1998) 年 12 月 1 日発行
 —巻頭言— 適塾の風貌—大学の原型— 多田羅浩三
 適塾特別展示 日本の近代化と適塾門下生 米田該典
 適塾の人 伴 忠康先生のこと 多田羅浩三
 <適塾記念講演会>
 "Of Mice and Men" (生きとし生けるもの) 野村大成
 『舞姫』のベルリン・『輪舞』のウィーン 平田達治
 <洪庵忌—適塾の夕べ—>
 知的所有権の未来像—経済法規のリストラへ向けて— 江口順一
 都市計画におけるパラダイム・シフト 大久保昌一
 <適塾研究会>
 適塾研究会始まる 米田該典
 特集 座談会 『適塾』を振り返りながら、今後の適塾を語る
 緒方裁吉・梅溪昇・芝哲夫・大久保昌一・藤野明・米田該典・中直一・多田羅浩三
 <論考・随想>
 世界土俵の上の幕末維新史 紺野大介
 洪庵と和蘭薬学—窮理堂蔵の二資料を中心に— 藤野明
 大槻玄澤・司馬江漢の西遊と木村兼葭堂—日記にみる大坂での交流— 村田忠一

洪庵の蘭語学統 —江戸・長崎の遊学から— ＜資料＞	藤野明
緒方洪庵に宛てた坪井信道の洋薬注文書 「緒方収二郎宛書簡他」紹介（1） 賀古鶴所より緒方収二郎あて書簡 —明治初期医学事情—	芝哲夫 梅溪昇
阪大所蔵の独逸学資料について ＜適塾門下生調査＞	中直一
適塾門下生に関する調査報告（18） 鹿田謹齋・林玄仲・潮田遠平・妹尾遊玄・望月行蔵・富水習益・富澤松庵・山田直記・徳弘数之助・萩原慮庵・山田純安・橋本謙蔵・谷世敏・谷口泰庵・八島星海・吉村賢次郎	芝哲夫
適塾記念会の歩み（その25）	多田羅浩三

【第32号】平成11（1999）年12月1日発行

—巻頭言— 「平成の適塾」の実現を	本間正明
適塾特別展示「種痘伝来百五十年—予防医学に盡瘁した先人達の記録—」	加藤四郎
適塾特別展示 嘉永二年秋・浪花の除痘 笠原良策「戦兢録」とその周辺	藤野明
＜適塾記念講演会＞	
ボロブドゥールの説話図浮彫	肥塚隆
＜洪庵忌適塾の夕べ＞	
緒方洪庵と除痘館活動—牛痘法定着一五〇年に寄せて— 本家緒方家思いだすままに	浅井允晶 緒方惟之
＜第1回適塾研究会＞	
第一回適塾研究会について	中直一
＜日蘭友好四〇〇周年記念行事＞	
日蘭友好四〇〇周年記念行事について	多田羅浩三
＜論考・随想＞	
適塾出身の久留米藩医北村節齋（政記）・鶴田仙菴	深谷眞三郎
適塾門下生中村恭安「ベーツ乾薬韻府抄訳」の原書	村田忠一
＜資料＞	
杏雨書屋所蔵適塾門下生書簡（その一） —佐伯理一郎宛 足立寛、長瀬時衡、川本泰年書簡—	芝哲夫
	梅溪昇
緒方家旧蔵の四史料について	中山沃
緒方洪庵贈位奉告祭及び祝賀会について	中山沃
緒方惟準翁の死去と葬儀	藤野明
「開国文化大展覽会」にみる洪庵と適塾生たち	大久保昌一
機関誌『適塾』の表紙絵について	
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（19）	芝哲夫
鹿田謹齋・山縣玄淑・内藤信郷・西川元正・山縣周平・太田静馬・梅谷慊堂・今井雄策・渡邊禮三・青木浩齋・高玄昌・原田永壽	
適塾記念会の歩み（その26）	多田羅浩三

【第33号】平成12（2000）年12月1日発行

—巻頭言— 大阪大学の創立七〇周年と適塾	城野政弘
＜適塾特別展示＞	
日蘭交流四〇〇周年記念 日本における近代医学・理化学の源流と大阪	芝哲夫・松田武・米田諒典・村田路人
＜適塾記念講演会＞	
大阪の知恵とデリバティブ	仁科一彦
再開された心臓移植	松田暉
＜洪庵忌適塾の夕べ＞	
適塾とロシア	藤本和貴夫
ワクチン開発の楽しさ、厳しさ	上田重晴
＜第2回適塾研究会＞	

第二回適塾研究会について	村田路人
<日蘭友好四〇〇周年記念行事>	
日蘭友好四〇〇周年記念行事について	多田羅浩三
<論考・随筆>	
「中村恭安の家系を探る」	山井明
大鳥圭介筆「福寿無量」扁額と圭介孫娘八重のこと	小島種子
<史料>	
杏雨書屋所蔵適塾門下生書簡（その二）	芝哲夫
—池田謙斎、緒方拙斎、高松彝、坪井信良、箕作秋坪、村田蔵六—	
「緒方収二郎宛書簡他」紹介（2）	梅溪昇
緒方惟孝・惟準・吉重・拙斎・八千代より緒方収二郎あて書簡	—明治中期医学・病院事情—
緒方洪庵『扶氏経験遺訓附録』とその引用蘭書	村田忠一
中村昭氏寄贈の図書について 「扶氏経験遺訓」の初稿本を巡って	米田該典
緒方洪庵と和歌をめぐって—緒方家の人々と和歌—	管宗次
洪庵訳述「和蘭詞解畧説」の緒方家本	藤野明
付 表紙に墨書きされた謎の二人はだれか？	
除痘館と大和屋喜兵衛	久保武雄
<適塾門下生調査>	
適塾門下生に関する調査報告（20）	芝哲夫
渡邊春昌・布野雲平・進藤良策・吉浦春洞・高松春民・室良悦・藤野貞司・福間三良・横山見純	
<適塾記念会の歩み>	
適塾記念会の歩み（その27）	多田羅浩三

〔第34号〕平成13（2001）年12月1日発行

—巻頭言— 適塾に想う	宮西正宜
<適塾特別展示>	
適塾から大阪大学へ	澤井実
<適塾記念講演会>	
太ることの科学—良い肥満と悪い肥満—	松澤佑次
狩野探幽の新しい絵画	鬼原俊枝
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
明治維新と現代	猪飼隆明
<第3回適塾研究会>	
第三回適塾研究会について	米田該典
<論考・随想>	
適塾の謎（その1）	芝哲夫
適塾門人佐渡賢隆と『蘭訳千字文』	正橋剛二
<史料紹介>	
「緒方収二郎宛書簡他」紹介（3、完）	梅溪昇
適々斎および適塾の蔵書—旧洪庵文庫の蘭書について—	村田忠一
億川家所蔵の適塾関連資料について	米田該典
クリストフ・ヴィルヘルム・フーフェラント	梅溪昇・永谷麻衣子
—緒方洪庵がその医学・思想に傾倒したドイツ名医の生涯—	
<適塾門下生調査>	
適塾門下生に関する調査（21）	芝哲夫
岩谷省達・手塚良庵・方寄文澤・震動雷天僕・北尾見輪・横山浅謙・金森建策	
<適塾記念会の歩み>	
適塾記念会の歩み（その28）	多田羅浩三

〔第35号〕平成14（2002）年12月1日発行

—巻頭言— 箕作元八の夢—歴史学の再生と大学改革—	川北稔
<適塾特別展示>	
適塾記念会創立五〇周年記念 適塾の所蔵品特別展	村田路人

＜適塾記念講演会＞	
21世紀の医療—遺伝子は命を救う	荻原俊男
都市の自画像	奥平俊六
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
適塾門下生調査について	芝哲夫
適塾記念会五十年の歩み	梅溪昇
＜第4回適塾研究会＞	
緒方洪庵と大坂の除痘館—丹波国松本節齋への分苗を中心に—	古西義麿
緒方洪庵のオランダ医学	石田純郎
シーボルトの点眼筐の調査—緒方洪庵と蘭方医の葉箱—	米田該典
緒方洪庵の足守藩内での種痘と備前藩主の診察	中山沃
＜論考・随想＞	
適塾の謎（その2）	芝哲夫
『適塾』誌のあゆみ	藤野明
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（22）	芝哲夫
東條英庵・渋谷良耳・志田春庵・宮田魯齋・岩谷玄良・花房虎太郎・市川齋宮	
＜寄稿＞	
適塾と大阪北浜船場ライオンズクラブ	秋山弘雄
芝理事の「適塾の謎」に対する私の推論	緒方裁吉
緒方洪庵と和宮—山崎佐氏の見解について—	村田忠一
適塾門下生「村上代三郎」について—その知られざる事蹟を中心に—	西山勝仁
久留米藩出身の適塾門下生 後藤徳太郎（津留壽徳）	深谷眞三郎
適塾時代の橋本左内—漢詩を手がかりとして—	前川正名
「明治前半期のコレラ流行と対策」＝岐阜県を例として＝	杉村啓治
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その29）	多田羅浩三
＜史料紹介＞	
杉立義一氏旧蔵・現適塾記念会所蔵『緒方収二郎宛書簡・葉書』ほかの紹介	梅溪昇

〔第36号〕平成15（2003）年12月1日発行

—巻頭言— バーチャル適塾	宮原秀夫
＜適塾特別展示＞	
洪庵と塾生の墨蹟 適塾の所蔵品特別展Ⅱ	村田路人
＜適塾記念会創立五十周年記念行事＞	
記念式典 会長挨拶・祝辞・祝電披露・感謝状贈呈	
記念講演 適塾から慶應義塾へ	西川俊作
適塾の遺産と学問のこれから	金森順次郎
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
最新のマルチメディア技術とバーチャルミュージアム（適塾への適用）	岸野文郎
若き日の洪庵を小説に書く	築山桂
＜第5回適塾研究会＞	
古文書の読み方	村田路人
＜論考・随想＞	
緒方洪庵先生塑像の亡失について	梅溪昇
今治市河野美術館所蔵の緒方洪庵および適塾出身者の書翰（つづき、完）	梅溪昇
適塾記念会所蔵 適塾門下生書簡	芝哲夫
—長与専齋、渡辺卯三郎、小林文叔、渋谷良次、土山春庵、吉雄養正、佐野常民—	
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（23） 奥山静叔・本野周造・藤野貞司・大野貞齋・水川佳門	芝哲夫
＜寄稿＞	
『「適塾」跡の家で過した私の少年時代の憶い出』の続編	緒方裁吉
幕末長崎のプロテスタント宣教師と宣教医—緒方四郎の英学教師をさぐる—	村田忠一

伊藤慎蔵と『筆算提要』	飯塚修三
蘭学者時代の橋本左内—嘉永五年作の漢詩を手がかりとして・橋本左内漢詩研究（二）—	前川正名
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その 30）	木下タロウ
＜資料紹介＞	
適塾生にまつわる『甲斐国医史』出版される	芝哲夫
『よみがえる適塾—適塾記念会 50 年のあゆみ』の補訂	梅溪昇

〔第 37 号〕平成 16（2004）年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 『緒方洪庵全集』の編集・刊行事業の発足をのぞむ	梅溪昇
故適塾記念会理事 緒方正美先生を偲んで	梅溪昇
＜適塾特別展示＞	
洪庵と塾生の著書 適塾の所蔵品特別展Ⅲ	村田路人
＜適塾記念講演会＞	
国民健康づくり運動「健康日本 21」の意義	多田羅浩三
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
モンテスキューにおける「経済の精神」	佐村明知
ネズミの病理学から人の病理学へ	北村幸彦
＜第 6 回適塾研究会＞	
「適塾を育んだ大阪の蘭学」を開くに当って	芝哲夫
麻田剛立、山方蟠桃、伏屋素狄—大阪の科学の発祥—	芝哲夫
木村兼葭堂・小石元俊—天明寛政期における江戸蘭学界との交流—	村田忠一
橋本宗吉・川本幸民と緒方洪庵	柳田昭
＜論考・随想＞	
適塾生・奥州手土の南三隆（入門番号六三二）について	梅溪昇
中天游の『曆象新書』研究	吉田忠
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（24）	芝哲夫
小川文之助・後藤文徳・松下元芳・松下済民・所郁太郎・柳野謙秀・山中良和	
＜寄稿＞	
『適塾跡の北浜の家で過した少年時代の憶い出』の続編	緒方裁吉
並に洪庵夫妻の肖像画にまつわるエピソード	
蘭学者時代の橋本左内（承前）—嘉永六年作の漢詩を中心として・橋本左内漢詩研究（三）—	前川正名
生誕地における「洪庵緒方先生碑」の建立について	中山沃
適塾門下生「備中都宇郡早島 金平廉平」について	木村丹・松田俊悟
—姓名録六百三十六名の中でプロフィールが明らかでなかった門下生のひとり—	
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その 31）	木下タロウ
＜資料紹介＞	
億川家資料について	芝哲夫
戦前の適塾の様子を残す写真 2 葉	米田該典

〔第 38 号〕平成 17（2005）12 月 1 日発行

—巻頭言— 緒方洪庵生誕二〇〇年を五年後にひかえて	芝哲夫
追悼文 故適塾記念会理事 億川新先生を偲んで	米田該典
追悼文 内藤祐次氏の逝去を悼み適塾記念会への御貢献を想う	芝哲夫
＜適塾特別展示＞	
蘭学時代の洋書と適塾 適塾の所蔵品特別展示Ⅳ	中直一
＜適塾記念講演会＞	
コンピュータで生命を探る—ゲノム情報とその利用について—	松田秀雄
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	

共生を生きる日本社会—二十一世紀COE研究プロジェクトから—	津田葵
最近話題のウイルス感染症	山西弘一
<第7回適塾研究会>	
「教育改革と適塾の心」を開くに当たって	大久保昌一
科学的思考と人間性	大久保昌一
教育方法の観点から	菅井勝雄
適塾に学ぶ新しい大学のしくみづくり	河田聡
<論考・随想>	
福澤諭吉と適塾生との交友	芝哲夫
<寄稿>	
江戸城の緒方洪庵—『勤仕向日記』とその背景—	村田忠一
大鳥圭介の生涯と適塾	福本龍
「大坂の除痘館」分苗所調査報告(1)	古西義麿
<資料紹介>	
佐貫藩侍医の『三枝俊徳日記』記事抜萃	梅溪昇
小山田主鈴あての緒方洪庵のてがみ	芝哲夫
緒方家から新たに寄贈された資料について	米田該典
<適塾門下生調査>	
適塾門下生に関する調査報告(25)	芝哲夫
岩切久吉・西川元正・桑原西蔵・松崎鼎甫・嵯峨根良起・高橋純平・田中發太郎・京藤良斎・弓削多聞	
<適塾記念会の歩み>	
適塾記念会の歩み(その32)	木下タロウ

【第39号】平成18(2006)年12月1日発行

—巻頭言— 予防は治療に優る	加藤四郎
<記念碑建立>	
「除痘館発祥の地」記念碑が建立された	芝哲夫・加藤四郎
<適塾特別展示>	
適塾の所蔵品特別展V 緒方洪庵の手紙	村田路人
<適塾記念講演会>	
中之島の蔵屋敷・堂島の米市場	宮本又郎
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
福澤諭吉の国体論—その背景	米原謙
量子情報の話—究極の暗号通信から超並列情報処理まで—	井上恭
<第8回適塾研究会>	
「適塾と医学」を開くに当たって	芝哲夫
適塾と長与専斎	多田羅浩三
適塾と北里柴三郎	芝哲夫
緒方洪庵と種痘—関連する話題について—	加藤四郎
適塾と現代の感染症	木下タロウ
<随想>	
朝日放送株式会社新社屋建設に伴う福澤諭吉生誕地記念碑の一時撤去・保管について	梅溪 昇
<寄稿>	
「大坂の除痘館」分苗所調査報告(2)	古西義麿
適塾門下生栗原唯一、土山将曹、渡新吉について —京都の医学史料および勝海舟の日記から—	村田忠一
洪庵先生の師・坪井信道とその一生	長与健夫
適塾出身者・三鼓龍斎について	中山薫
蘭学者時代の橋本左内(三) 江戸遊学期の漢詩を中心として・橋本左内漢詩研究(四)	前川正名
適塾門下生「別府琴松」について	木村丹・松田俊悟
別府琴松資料補遺	芝哲夫
<資料紹介>	

“緒方洪庵のてがみ”拾遺	梅溪昇
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（26） 中村恭安・菅野秀二・山田謙輔・依田保	芝哲夫
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その33）	木下タロウ

〔第40号〕平成19（2007）年12月1日発行

—巻頭言— 歴史的空間の保全	大久保昌一
講義科目「大阪大学の歴史」を始めて	高杉英一
＜適塾特別展示＞	
緒方洪庵と適塾	米田該典・村田路人
＜適塾記念講演会＞	
古代ギリシア・ローマの笑い、上方の笑い—喜劇の場合—	木村健治
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
整形外科（医）と心	緒方惟之
新しい原子の創生—超重元素とエキゾチックアトムの化学—	篠原厚
＜第9回適塾研究会＞	
「適塾門下生についての調査と情報」を開くに当たって	芝哲夫
名塩と伊藤慎蔵の生涯	江本純三
適塾と名塩の人々 洪庵、舎密を勉強する	米田該典
三重・熊本・京都の適塾生	村田忠一
適塾門下生「別府琴松」について（第二報）	木村丹・松田俊悟
別府琴松資料について	芝哲夫
頓宮篤弼宛の緒方洪庵の手紙	芝哲夫
幕末明治期における北陸の医学と適塾門下生	赤祖父一知
適塾門下生 村上代三郎の晩年について	西山勝仁
＜論考・随想＞	
藤野恒三郎先生の弔辞「藤先生を偲んで」について	梅溪昇
洪庵が一般外来患者の診療をしたか	緒方裁吉
緒方洪庵五十回忌の記事について	中山沃
死直前の福沢諭吉の緒方洪庵先生に関する談話	中山沃
＜寄稿＞	
土佐の適塾生徳弘数之助	村田忠一
適塾出身奥村健二と千村家関係者	杉村啓治
＜資料紹介＞	
緒方章公裁稿「脚気説」について—付、穆私篤別里別里篇—	梅溪昇
頓宮篤弼宛の緒方洪庵書状	芝哲夫・村田路人
適塾寄贈資料 布野雲平伝「花失せじ」卜部忠治著	適塾記念会
適塾関係資料を探す 史跡指定の頃の適塾	適塾記念会
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（27） 瀬尾又玄・清水宗庵	芝哲夫
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その34）	木下タロウ

〔第41号〕平成20（2008）年12月1日発行

—巻頭言— 国際都市大阪の史蹟 —適塾とその境界—	脇田修
＜適塾特別展示＞	
適塾から大阪医学校へ	多田羅浩三・村田路人
＜適塾特別展示関連論文＞	
洪庵の教え—適塾のこころ—	多田羅浩三
＜適塾記念講演会＞	
考古学から見た古墳時代河内政権論	福永伸哉
肝臓病といかに付き合うか	林紀夫

＜洪庵忌—適塾の夕べ＞	
糖鎖と病気	谷口直之
文学状況が語る現代ビルマ	南田みどり
＜第10回適塾研究会＞	
適塾研究会の十年を顧みて	芝哲夫
第一回適塾研究会を開くに当って	中直一・芝哲夫
江戸時代の外国語研究と適塾の蘭学	中直一
緒方洪庵の医学用語	芝哲夫
現代の英語教授法から見た適塾	日野信行
独学事始—洪庵の兄弟子・宇田川榕菴と洪庵門下生の市川斎宮—	高橋輝和
宇田川榕菴の訳語と化学用語	芝哲夫
蘭学塾の素読法と明治以降の語学教育	中直一
＜寄稿＞	
洪庵門人と伝えられる太田精一について	村田忠一
書院番時代の橋本左内 江戸往復期の漢詩を中心として・橋本左内漢詩研究（五）	前川正名
＜資料紹介＞	
緒方洪庵の『家塾虎狼痢治則』について	梅溪昇
「死直前の福沢諭吉の緒方洪庵先生に関する談話」の一部訂正	
＜新着資料情報＞	
周防国都濃郡下松町飯田家文書	村田路人
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（28）	芝哲夫
河田雄禎・西敬次・中村恭安・安田謙曹・田中信吾・金光廉平・郡元之進・椰野謙秀・高玄昌・堀内利国	
＜適塾記念会の歩み＞	
適塾記念会の歩み（その35）	木下タロウ

〔第42号〕平成21（2009）年12月1日発行

—巻頭言— 歴史の授業	須田信英
＜適塾特別展示＞	
緒方惟準の生涯—没後一〇〇年記念展—	中山沃・村田路人
＜適塾記念講演会＞	
イメージとしての“大大阪”—モダン都市はいかに語られようとしたか—	橋爪節也
「持続可能な都市像」を求めて	大久保昌一
＜洪庵忌—適塾の夕べ＞	
クラゲの蛍光タンパク質で命の仕組みを照らす	岡部勝
＜第1回適塾講座＞	
第一回適塾講座の記録	村田路人
適塾と大坂町人社会	中川すがね
大坂の学芸社会と適塾	有坂道子
種痘事業の展開と大坂町奉行所	村田路人
＜寄稿＞	
長崎出身の適塾生郡元之進 —オランダ医ポンペおよびファン・デン・ブルックの門人に関する知見—	村田忠一
明道館時代の橋本左内 教育者期の漢詩を中心として・橋本左内漢詩研究（六）	前川正名
緒方洪庵先生の書について	原一郎・原二郎
＜資料紹介＞	
村田蔵六（大村益次郎）の学塾鳩居堂の所在地	村田忠一
＜適塾門下生調査＞	
適塾門下生に関する調査報告（29）	芝哲夫
中村恭安・北尾見輪・椰野謙秀・岩崎環・魚住順方・宇津玄庵・津野定信・林豹吉郎・矢田淳	
＜適塾記念会の歩み＞	

〔第 43 号〕平成 22（2010）年 12 月 1 日発行

- 巻頭言— 原点と未来—大阪大学にとっての適塾 鷺田清一
 <適塾特別展示>
 えがかれた適塾 村田路人・橋本孝成・廣川和花
 <洪庵忌—適塾の夕べ—>
 地方分権と統合—ローカリズムとグローバリズムの相剋— 齊藤愼
 「見る」ことの背景～脳が私を操る、私が脳を操るのではなく～ 藤田一郎
 <第 2 回適塾講座>
 第二回適塾講座の記録 村田路人
 都市大坂の医療環境と適塾 海原亮
 江戸時代の大坂町人社会と適塾 今井修平
 安政五年のコレラ流行と医療行政 村田路人
 <寄稿>
 水戸藩へ招かれた適塾門下生栗原唯一と下間良弼（為善） 村田忠一
 志士時代の橋本左内（一） 志士時代前期の漢詩を中心として（上）・橋本左内漢詩研究（七） 前川正名
 二冊の緒方洪庵著「医薬品述語集」—洪庵の著作と弟子の増補について— 橋本孝成
 <適塾記念会の歩み>
 適塾記念会の歩み（その 37） 木下タロウ

〔第 44 号〕平成 23（2011）年 12 月 1 日発行

- 巻頭言— 「独立自尊」と適塾 江口太郎
 <芝哲夫先生追悼文>
 芝哲夫先生の偉業を偲んで 木下タロウ
 <適塾特別展示>
 継承する適塾の精神 廣川和花
 <洪庵忌—適塾の夕べ—>
 適塾の蘭語教授法から今日の英語教授法へ 日野信行
 薬物依存、特に覚醒剤中毒について 的場梁次
 <第 3 回適塾講座>
 第三回適塾講座の記録 村田路人
 幕末期大坂の私塾と適塾 山中浩之
 「政事」と「文事」～武士たちの大坂～ 藪田貫
 幕末期大坂周辺地域の触伝達—将軍家定死去時の「慎み」関係触を例に— 村田路人
 <適塾記念講演会—緒方洪庵生誕二〇〇周年記念—>
 洪庵の学問を育んだ心 多田羅浩三
 洪庵先生と大坂 脇田修
 <寄稿>
 志士時代の橋本左内（二） 前川正名
 志士時代前期の漢詩を中心として（下）・橋本左内漢詩研究（八）
 緒方洪庵訳「人身究理小解」写本の相違点について 橋本孝成
 <門下生情報>
 土佐の適塾生・石田英吉—その入門年次と生涯— 西山勝仁
 <適塾をめぐる詩と書 第 1 回>
 適塾は 豈唯に風月のみならんや 福沢諭吉 合山林太郎
 <適塾記念会と適塾記念センター>
 適塾記念会の歩み（その 38） 木下タロウ
 大阪大学適塾記念センターの設立について 廣川和花

〔第45号〕平成24(2012)年12月1日発行

—巻頭言— 無意の人乃ち如意の人	平野俊夫
<適塾特別展示>	
洪庵・適塾と蘭書	廣川和花
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
日本の近代化と法の役割—西欧型近代法の主体的・選択的・変容的継受の前提—	中尾敏充
X線で見える複雑な蛋白質複合体の構造とそのはたらき	月原富武
<第4回適塾講座>	
第四回適塾講座の記録	澤井実
明治期の大阪高等工業学校と大阪経済	澤井実
戦間期の大阪高等工業学校・大阪工業学校・大阪帝国大学工学部と大阪経済	澤井実
戦時期の大阪帝国大学工学部・理学部と大阪経済	澤井実
<適塾記念講演会>	
環境政策最前線—グリーンアクセスとは何か—	大久保規子
整形外科の歴史と最先端治療	吉川秀樹
<第1回適塾見学会>	
第一回(平成二三年度)適塾見学会の記録	村田路人・橋本孝成
<論考>	
渡辺卯三郎の科学技術への関心について	福田舞子
志士時代の橋本左内(三) 志士時代後期の漢詩を中心として・橋本左内漢詩研究(九)	前川正名
<史料紹介>	
周防国都濃郡下松町飯田家文書七点の紹介—適塾生飯田柔平関係文書その他—	村田路人
<門下生情報>	
洪庵門下生について—知られざる八人の番外生—	西山勝仁
<適塾をめぐる詩と書 第2回>	
懺雨 迷雲 劫後の天 緒方拙斎	合山林太郎
<適塾記念会と適塾記念センター>	
適塾記念会の歩み(その39)	木下タロウ
適塾記念センターの歩み(その1)	廣川和花

〔第46号〕平成25(2013)年12月1日発行

—巻頭言— 継承すべき「適塾の精神」とは、何であろうか	大久保昌一
<適塾特別展示>	
適塾の展示リニューアルについて	廣川和花
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
社会学の立場から正義を考える	友枝敏雄
記憶固定のしくみ—記憶研究のパラダイム転換を目指して—	小倉明彦
<第5回適塾講座>	
第五回適塾講座の記録	澤井実
病院での臨床教育と医学の長期的な転換	鈴木晃仁
Hygieneと衛生—長与専斎のみた欧米と日本	永島剛
日本の工業化・都市化・結核—再考「女工と結核」—	花島誠人・友部謙一
<適塾記念講演会>	
新蘭学事始—今、オランダに学ぶこと	松野明久
シーボルト・コレクションの歴史的意義と適塾の役割	塚原東吾
シーボルト像の転換と、史料の新たな「使い道」	
<適塾記念センターシンポジウム>	
記録 「鎖国」のベールの裏側で—ケンペルとその時代の日欧交流の実態にせまる	古谷大輔
<第2回適塾見学会>	
第二回(平成二四年度)適塾見学会の記録	村田路人・福田舞子
<史料紹介・調査報告>	
志士時代の橋本左内(四) 謹慎期の漢詩を中心として(一)・橋本左内漢詩研究(十)	前川正名

「適々齋塾姓名録」の調査について	二宮美鈴
緒方道平の生誕地	中山薫
緒方医学化学研究所からの寄贈資料について	廣川和花
＜門下生情報＞	
梅谷家関係史料の紹介—適塾生 梅谷佐門の大坂における医学修行を中心に—	福田舞子
＜適塾をめぐる詩と書 第3回＞	
事に臨んで為すこと無きは賤丈夫なり 篠崎小竹	合山林太郎
＜適塾記念会と適塾記念センター＞	
適塾記念会の歩み（その40）	木下タロウ
適塾記念センターの歩み（その2）	廣川和花

〔第47号〕平成26（2014）年12月1日発行

—巻頭言— 改修と地層—大阪大学適塾記念センターのめざすもの	永田靖
＜適塾特別展示＞	
緒方洪庵・適塾と近世大坂の学知	廣川和花
平成の改修—歴史遺産を未来へ—	廣川和花
＜適塾耐震改修工事＞	
適塾の平成の耐震改修に至る道	江口太郎
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
基礎医学研究からアカデミア発創薬へ	米田悦啓
近代日本の研究開発体制	澤井実
＜第6回適塾講座＞	
第六回適塾講座の記録	澤井実
スイスの病院史	ピエール=イヴ・ドンゼ
戦後の外資系製薬企業—日本事業の展開プロセス	竹内竜介
日本からみた一九八〇年代以降の世界ワクチン産業の衰退と再生	ジュリア・ヨング
＜適塾記念講演会＞	
大坂・京都のキリシタン—受容における特徴から—	岡美穂子
緒方洪庵の薬箱由来生薬の本草学的意義と東西融合医療	高橋京子
＜第3回適塾見学会＞	
第三回（平成二五年度）適塾見学会の記録	村田路人・福田舞子
＜特別展ミュージアムレクチャー＞	
蘭学と洋風画—石川大浪をめぐる	勝盛典子
ロシア使節プチャーチンの来航と大坂・下田	西澤美穂子
＜書評＞	
アン・ジャネッタ著 廣川和花・木曾明子訳	鈴木晃仁
『種痘伝来—日本の＜開国＞と知の国際ネットワーク』	
鈴木則子編『歴史における周縁と共生—女性・穢れ・衛生』	廣川和花
＜史料紹介・調査報告＞	
新収の村上代三郎関係資料について	福田舞子・二宮美鈴
志士時代の橋本左内（五） 謹慎期の漢詩を中心として（二）・橋本左内漢詩研究（十一）	前川正名
＜適塾をめぐる詩と書 第4回＞	
酒を江湖に戒むるは 事 之有り 長与専斎	合山林太郎
＜適塾記念会と適塾記念センター＞	
適塾記念会の歩み（その41）	木下タロウ
適塾記念センターの歩み（その3）	廣川和花

〔第48号〕平成27（2015）年12月1日発行

—巻頭言— 吉野林業に学ぶ	宮本又郎
＜大久保昌一先生追悼文＞	
適塾と大久保昌一先生	中尾敏充
＜緒方惟之先生追悼文＞	

惟之先生への想い	緒方高志
＜適塾特別展示＞	
西洋の知と適塾	松永和浩
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
トップ1%とはどのような人か？	大竹文雄
体のできるしくみ：原理の探求と応用への道	濱田博司
＜第7回適塾講座＞	
第七回適塾講座の記録	古谷大輔
「華夷変態」から蘭学へ—蘭学受容の歴史的前提—	木村直樹
未知なる太平洋と日本の開国	後藤敦史
アジアとヨーロッパを繋ぐ媒介者たち —蘭学を刺激したヨーロッパ出身者の事情	古谷大輔
＜適塾記念講演会＞	
外科学の新展開—心筋再生治療—	澤芳樹
日本中世は呪術からの解放の時代か？—中世仏教の合理と非合理—	平雅行
＜第4回適塾見学会＞	
第四回（平成二六年度）適塾見学会の記録	村田路人・福田舞子
＜適塾耐震改修工事完了記念 大阪大学シンポジウム＞	
適塾「平成の改修」—未来へ守り伝えるために—	江口太郎
幕末期大坂地域と洪庵・適塾—種痘事業を中心に—	村田路人
適塾（旧緒方洪庵住宅）の建築史的・文化財的価値	谷直樹
第二部 座談会「文化財を守り伝えるために」要旨	福田舞子
＜書評＞	
後藤敦史著『開国期徳川幕府の政治と外交』	富川武史
海原亮著『江戸時代の医師修業 学問・学統・遊学』	廣川和花
＜史料紹介・調査報告＞	
新出の村田蔵六宛緒方洪庵書状	柳沢英美子
志士時代の橋本左内（六） 謹慎期の漢詩を中心として（三）・橋本左内漢詩研究（十二）	前川正名
『大阪大学適塾記念センター所蔵 適塾関係資料目録』の刊行について	二宮美鈴・福田舞子・廣川和花・松永和浩
＜適塾をめぐる詩と書 第5回＞	
世態の是非かを知らず 大島圭介	合山林太郎
＜適塾記念会と適塾記念センター＞	
適塾記念会の歩み（その42）	木下タロウ
適塾記念センターの歩み（その4）	松永和浩
【第49号】平成28（2016）年12月1日発行	
—巻頭言— 適塾を陰で支えた緒方八重	西尾章治郎
＜加藤四郎先生追悼分＞	
加藤四郎先生と予防医学と適塾と	木下タロウ
＜梅溪昇先生追悼分＞	
梅溪昇先生を偲ぶ	脇田修
＜適塾特別展示＞	
洪庵・惟準から伝わる緒方家の至宝—新寄贈資料展—	松永和浩
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
虚構の「癩者」たち —中近世南西フランスにおける被差別民「カゴ」（Cagots）—	江川温
自然免疫：最近の考え方	審良静男
＜第8回 適塾講座＞	
第八回適塾講座の記録	古谷大輔
薬食同源の観点から見た酒—「酒は百薬の長」を科学する—	高橋京子
鋼を溶かさずに接合する—CO ₂ 排出の大幅削減に向けて—	藤井英俊
＜適塾記念講演会＞	
立憲主義の展開とその社会—日独比較から	高田篤
人間型ロボットと未来社会—人間の本質とロボット—	石黒浩

＜第5回適塾見学会＞	
第五回（平成二七年度）適塾見学会の記録	村田路人・松永和浩
＜論考＞	
緒方重三郎の生涯—近代法の翻訳者たち（二）補論—	小野博司
＜随想＞	
すべてを完結された梅溪昇先生のご生涯	大館隆雄
「餘芳」—梅溪昇先生を回顧して—	松本紀文
＜書評＞	
緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室編『緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く』	松永和浩
片桐一男著『江戸時代の通訳官—阿蘭陀通詞の語学と実務—』	木村直樹
＜史料紹介・調査報告＞	
緒方惟之氏旧蔵資料の寄贈について	二宮美鈴・福田舞子・松永和浩
＜適塾をめぐる詩と書 第6回＞	
退食し 閑かに歩みを移せば 偏へに知る 百慮 清きを	佐野常民 合山林太郎
＜適塾記念会と適塾記念センター＞	
適塾記念会の歩み（その43）	島田昌一
適塾記念センターの歩み（その5）	松永和浩

【第50号】平成29（2017）年12月1日発行

—巻頭言— 『適塾』五〇号に寄せて	木下タロウ
＜『適塾』五〇号記念座談会＞	
適塾記念センター設立から七年をふりかえって	江口太郎・木下タロウ・永田靖・村田路人
＜適塾特別展示＞	
新発見！緒方洪庵夫人・八重のてがみ—“良妻賢母”の知られざる素顔—	松永和浩
＜洪庵忌—適塾の夕べ—＞	
日本語の視点からアフリカ諸語を見る—日本語とバントゥ諸語の言語研究—	米田信子
先端物質科学を身の回りの日常へ：More is different のモノの見方	北岡良雄
＜第9回 適塾講座＞	
第九回適塾講座の記録	古谷大輔
適塾の歴史的評価について—地方出身門人の活動から	青木歳幸
大阪の医学史研究と適塾—洪庵と適塾はどのように記念されてきたのか	廣川和花
＜第8回 適塾講座＞	
燐寸の創造性と想像力～明治・大正期の阪神地域における輸出地場産業の形成	大石高志
＜適塾記念講演会＞	
ローカル／ナショナル／グローバルの往復運動—南スーダンの人類学的研究から見えてきたこと	栗本英世
豊かな現代社会を支える有機合成化学の進化—クロスカップリング反応を中心として—	三浦雅博
＜第6回適塾見学会＞	
第六回（平成二八年度）適塾見学会の記録	村田路人・松永和浩
＜書評＞	
『緒方洪庵全集』第四巻を読む	古西義麿
加藤四郎編著『小児を救った種痘学入門—ジェンナーの贈り物—』	堀井俊宏
＜史料紹介・調査報告＞	
新たに寄贈されたボードイン帰国時の記念写真について	福田舞子
志士時代の橋本左内（七） 謹慎期の漢詩を中心として（四）・橋本左内漢詩研究（十三）	前川正名
＜適塾をめぐる詩と書 第7回＞	
歳除 今日 公事有るも 柳を折り 梅を揺し 聊か忙を作す	小石元瑞 合山林太郎
＜適塾記念会と適塾記念センター＞	
適塾記念会の歩み（その44）	島田昌一
適塾記念センターの歩み（その6）	松永和浩
『適塾』第1号～第51号 総目次	

〔第 51 号〕平成 30 (2018) 年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 「共創」理念と緒方洪庵・適塾	三阪佳弘
<熊谷信昭先生追悼文>	
憧れの師	宮原秀夫
<脇田修先生追悼文>	
脇田修先生を偲ぶ	村田路人
<適塾特別展示>	
戊辰戦争～西南戦争をめぐる適塾関係者たち—軍制と医療から—	松永和浩
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
高等教育のグローバル化について考える—四半世紀の留学生との関わりを通して—	有川友子
適塾から続く感染防御研究に携わって	木下タロウ
<第 10 回適塾講座>	
第 10 回適塾講座の記録	橋爪節也
緒方洪庵夫人・八重の実像—新出の自筆書状から—	松永和浩
跡見花蹊—女性教育に尽力した大阪ゆかりの女性画家—	小川知子
<適塾記念講演会>	
高温超伝導と未来社会—実学と虚学のはざまにて—	田島節子
目指すべき社会を考える—経済思想史の視点から—	堂目卓生
<第 7 回適塾見学会>	
第 7 回 (平成 29 年度) 適塾見学会の記録	村田路人・福田舞子・松永和浩
<書評>	
梅溪昇『緒方洪庵』	松永和浩
<史料紹介・調査報告>	
適塾関係資料画像データベースの公開	松永和浩
2018 年大阪府北部地震および台風 21 号による被災状況	松永和浩
<門下生情報>	
駿遠豆の適塾門下生に関する新知見	樋口雄彦
<随想>	
適塾門下生 梅谷慊堂について—適々斎塾「姓名録」の改名の謎—	西山勝仁
<適塾をめぐる詩と書 第 8 回>	
但だ満身此れ雨露なるを覚ゆるも 絶て一点の塵砂を着する無し 花房義質	合山林太郎
<適塾記念会と適塾記念センター>	
適塾記念会の歩み (その 45)	島田昌一
適塾記念センターの歩み (その 7)	松永和浩

〔第 52 号〕令和元年 (2019) 年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 若い人々と適塾	中直一
<適塾特別展示>	
北船場地域と適塾・除痘館	尾崎真理
<洪庵忌—適塾の夕べ—>	
緒方洪庵と適塾	村田路人
<第一回適塾講座>	
第一回適塾講座の記録	橋爪節也
西郷隆盛と適塾をめぐる人々	猪飼隆明
軍都大阪の形成過程—陸軍の創出、訓練、病気そして戦争、陸軍墓地—	小田康徳
大阪の戦中・戦後	横山篤夫
<適塾記念講演会>	
演劇のアジア的転回—ポスト・グローバリゼーション時代に向けて—	永田靖
二酸化塩素が世界を変える～社会に対して多方面での貢献が期待～	土井健史
<第 8 回適塾見学会>	
第八回 (平成 30 年度) 適塾見学会の記録	村田路人・松永和浩
<史料紹介・調査報告>	

分析に成功」 ～プレスリリース報告とその後の反響～	高橋京子
新収の緒方洪庵の著作および書状について—『緒方洪庵全集』編纂にあたって	尾崎真理
志士時代の橋本左内（九）	
謹慎期の漢詩を中心として（六）・橋本左内漢詩研究（十五）	前川正名
〈適塾をめぐる詩と書 第一〇回〉	
赫々たり 吾が医祖、光輝 万春を照らす	坪井信道
〈阪大生が伝えたい適塾の魅力〉	合山林太郎
「阪大生が伝えたい適塾の魅力」について	松永和浩
いまも遺る阪大の源流	梅木拓哉
誇り高さ「適塾」	服部由依
受け継がれるべき適塾の精神	渡辺舞
〈情報提供〉	
銘酒「緒方洪庵」復活プロジェクト	松永和浩
〈適塾記念会と適塾記念センター〉	
適塾記念会の歩み（その 48）	島田昌一
適塾記念センターの歩み（その 10）	松永和浩

[第 55 号] 令和四年（2022）年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 大阪大学における常設講座「適塾・緒方洪庵入門」	日野信行
〈適塾特別展示〉	
街に生きる学問—学都大阪の礎・つなぎあう想い—	松永和浩
緒方洪庵と武谷椋亭（補遺）	赤司友徳・松永和浩
〈洪庵忌—適塾の夕べ—〉	
「アフリカ文学」と言語問題	
—スワヒリ語作家サイド・アフメド・モハメド Said Ahmed Mohamed を中心に—竹村景子	
〈第一四回 適塾講座〉	
第一四回適塾講座の記録	渡部健二
適塾の教育、大阪大学医学部の教育	渡部健二
大阪大学医学部から世界への発信、がん免疫療法	保仙直毅
大阪大学医学部から世界への発信～再生医療～	宮川繁
〈適塾記念講演会〉	
量子情報・量子生命が拓く～今なぜ量子なのか	北川勝浩
〈史料紹介・調査報告〉	
『緒方洪庵全集』第五巻（書状（その二）、その他文書、（附）適塾姓名録）の刊行	
について	尾崎真理
藤野家資料について	西川哲矢
適塾生津田淳三伝来の洪庵書幅五幅（稲坂暢氏旧蔵）の寄贈について	尾崎真理
適塾生梅谷左門宛書状等（梅谷邦彦氏旧蔵）の寄贈について	
—緒方洪庵・緒方郁蔵・後藤松陰・菅野真斎・菅野白華等書状—	尾崎真理
『福翁自伝』に書かれなかった適塾うらばなし	西川哲矢
志士時代の橋本左内（十）	
謹慎期の漢詩を中心として（七）・橋本左内漢詩研究（十六）	前川正名
〈阪大生が伝えたい適塾の魅力〉	
適塾で福沢諭吉が学んだもの	谷野彩乃
語学塾としての適塾に関する考察とその魅力	奥山聡太
現代に残る適塾の姿が教えてくれたもの	古石愛美
“二一世紀に生きる適塾”で学ぶ私たちに求められているもの	大金あおい
〈適塾記念会と適塾記念センター〉	
適塾記念会の歩み（その 49）	島田昌一
適塾記念センターの歩み（その 11）	松永和浩

[第 56 号] 令和五年（2023）年 12 月 1 日発行

—巻頭言— 適塾の防火・防災対策と地域連携	島田昌一
〈適塾特別展示〉	
緒方八重と佐野常民	西川哲矢・松永和浩

〈洪庵忌—適塾の夕べ—〉	
これまでの洪庵忌、これからの洪庵忌	松永和浩
ヒューマン・メタバース疾患学とは ～人体を仮想空間で創りあげる未来の医療	西田幸二
〈第一五回 適塾講座〉	
第一五回適塾講座の記録	辻野博文
西洋菓のターゲット タンパク質研究	辻野博文
細菌感染症 緒方洪庵の時代から現在	河原一樹
感染症ワクチンの過去・現在・未来	吉岡靖雄
〈第一一回 適塾見学会〉	
第一一回（令和四年度）適塾見学会の記録	廣田誠・松永和浩
〈史料紹介・調査報告〉	
日本最初の弁護士・中定勝の多彩な活躍	西川哲矢
志士時代の橋本左内	
謹慎期の漢詩を中心として（八）・橋本左内漢詩研究（十七）	前川正名
〈阪大生が伝えたい適塾の魅力〉	
適塾を知り、訪れる意義	岡本実咲希
緒方洪庵と適塾を支えた八重の存在	前田空登
適塾見学を通して感じた当時の様子	野本楓花
適塾浪漫	盛満光貴
適塾を訪れて見えてきた適塾の魅力	滝本真奈帆
〈アートプロジェクト『適塾の集い』〉	
『適塾の集い』ができるまで	森村泰昌
「適塾、解散！」	小野雄希
アートプロジェクト『適塾の集い』の記録	
—中之島センターのリニューアルと適塾記念センター—	松永和浩
〈適塾記念会と適塾記念センター〉	
適塾記念会の歩み（その 50）	島田昌一
適塾記念センターの歩み（その 12）	松永和浩
[第 57 号] 令和七年（2025）年 1 月 31 日発行	
—巻頭言— 藤野先生	竹田潔
〈適塾特別展示〉	
シリーズ生誕二〇〇年記念 ～その参 村上代三郎	西川哲矢
〈洪庵忌—適塾の夕べ—〉	
現代の「適塾」を考える	森村泰昌
〈第一六回 適塾講座〉	
第一六回適塾講座の記録	大谷順子
『格差の起源』における感染症と男女平等に関する解釈	小川寿美子
感染症と文明	山本太郎
コロナ・パンデミックの経験に現れたイタリア人女性の	
アクティブ・エイジング概念	カヴァリエレ・パオラ
〈第一二回 適塾見学会〉	
第一二回（令和五年度）適塾見学会の記録	廣田誠・松永和浩
〈書評〉	
角鹿尚計著『橋本左内 人間自ら適用の士有り』	前川正名
〈史料紹介・調査報告〉	
志士時代の橋本左内（十二）	
謹慎期の漢詩を中心として（九）・橋本左内漢詩研究（十八）	前川正名
〈阪大生が伝えたい適塾の魅力〉	
適塾から大阪大学に至るまで	BAE KIRIM
適塾精神を未来へ繋ぐ	柴田真悠子
適塾の精神	岳櫻然
大阪大学の源流を辿る	吉原侑愛
徹底した実力主義と塾生から見た洪庵	中村涼
〈情報提供〉	

クラウドファンディング「適塾の建物を後世に守り伝えたい！」について 〈適塾記念会と適塾記念センター〉	松永和浩
適塾記念会と適塾記念センターの歩み（その1）	松永和浩

[第58号] 令和八年（2026）年1月23日発行

—巻頭言— 大阪大学という「たいまつ」を未来につなぐ 〈宮原秀夫先生追悼文〉	熊ノ郷淳
宮原先生を偲んで 〈多田羅浩三先生追悼文〉	西尾章治郎
多田羅浩三先生が適塾に重ねる公衆衛生の論点～適塾愛～ 〈適塾特別展示〉	高橋京子
三人の藤野先生、その生涯と交流 —升八郎と洪庵、巖九郎と魯迅、恒三郎と遼太郎— 〈洪庵忌—適塾の夕べ—〉	西川哲矢
知をひらき、まちと世界をつなぐ ～緒方洪庵の志を継ぐ未来型インフラとセンシング技術～ 〈第一七回 適塾講座〉	関谷毅
第一七回適塾講座の記録	モハーチ・ゲルゲイ
子供たちに『感染症と人類の歴史』を伝える	池田光穂
食品から摂取されるカドミウムの健康影響評価	祖父江友孝
人間と動物が作り出す健康と環境 〈第一三回 適塾見学会〉	住村欣範
第一三回（令和六年度）適塾見学会の記録 〈研究論文〉	廣田誠・平田良行・松永和浩
適塾の建物の変遷 〈史料紹介・調査報告〉	木多翔駿
適塾建物の三次元計測について	福田知弘
伝統的町屋『適塾』における在室者の快適性と知的生産性に関する実験的考察	山中俊夫
大阪府立高等医学校病院絵葉書	松永和浩
志士時代の橋本左内（十三） 謹慎期の漢詩を中心として（十）・橋本左内漢詩研究（十九） 〈適塾資料の再発見〉	前川正名
グローバルヒストリーのなかの『扶氏経験遺訓』 —知の翻訳と近代日本の創造— 〈阪大生が伝えたい適塾の魅力〉	古谷大輔
今日につながる陰の人	奥村恵衣
近代日本の源流 適塾齋塾	宮崎莉穂
適塾における八重の貢献とその影響	岡村菜那
継承	柳田葵
今と昔をつなぐ適塾	和田真音
適塾で感じた、空間が学問を育てる魔法の力 〈情報提供〉	吉田もも
第一回蘭医学サロンの開催	松永和浩
緒方洪庵の薬箱の化学遺産認定 〈適塾記念会と適塾記念センター〉	辻野博文・松永和浩・高橋京子
適塾記念会と適塾記念センターの歩み（その2）	松永和浩